

代名詞(Pronoun)

下記の文章を見てください。

A. ショーンは私の友人だ。ショーンはオクラホマ出身だ。
(Sean is my friend. **Sean** is from Oklahoma.)

安い短編小説のはじまりみたいな例文ですが、ショーン、ショーンと2回言及するので、ちょっとしつこいですよね。文章の最初で一度ショーンに言及したので、後は「ショーン」ではなく「彼」と言った方がスマートです。英語で「彼」はheというので、書き換えると下記のようになります。

★Sean is my friend. **He** is from Oklahoma.

この際に使われているheの部分は、Seanの「代替りの」名詞なので、代名詞と呼ばれています。ここでは日本語に訳したときに「彼は～」という、助詞が「は」の文章において機能しましたが、「彼の～」とか「彼を～」になってくると代名詞も変化します。

例えば彼「は」という場合はheですが、日本語で「彼の車」と言った場合、この彼「の」は所有格でhisになります。よって英語にすると「彼の車」=「his car」です。では「ジェニーは彼を好きだ」と言った場合の「を」になると、ここは目的格のhimになり、「Jenny likes him.」です。これらを「彼」のみでなく、他の代名詞(私、彼女、あなた、わたしたち、彼ら)にも当てはめると以下のような表ができます。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
私	I(私は)	my(私の)	me(私に、私を)	mine(私のもの)
あなた	you(あなたは)	your(あなたの)	you(あなたに、あなたを)	yours(あなたのもの)
彼	he(彼は)	his(彼の)	him(彼に、彼を)	his(彼のもの)
彼女	she(彼女は)	her(彼女の)	her(彼女に、彼女を)	hers(彼女のもの)
彼ら	they(彼らは)	their(彼らの)	them(彼らに、彼らを)	theirs(彼らのもの)
それ	it(それは)	its(それは)	it(それは)	it(あまり使われません)

再帰代名詞

代名詞には、heやshe以外にも、例えばhimにselfをつけて「himself」などといったものもあり、また別の機能を持っています。例えば

★I asked myself if I am really satisfied with my job.
(私は自分の仕事に満足しているかどうかを私自身に問いかけた)

という文章があったとします。私が私に問いかけた、という意味で主語と目的語が一致していますね。こういうときにselfをつけた代名詞が使われたりします。(I asked meでは不自然です)。日本語に訳すとこれは「～自身」で、myselfなら「私自身」、himselfなら「彼自身」、herself「彼女自身」、といった感じの意味になります。例文を沢山参照しながらニュアンスを学習しましょう。こういう代名詞(再帰代名詞)の表を以下に記します。

	再帰代名詞(～自身)		one's own(～自身の) ※所有格	
	単数形	複数形	単数形	複数形
私	myself	ourselves	my own	our own
あなた	yourself	yourselves	your own	your own
彼 彼女 それ	himself herself itself	themselves	his own her own its own	their own

上記の再帰代名詞が持つ意味を以下で説明します。

1. 上記と同じく、主語と動詞の目的語が同じ場合。

例★I asked myself if I am really satisfied with my current job.

私は私自身に本当に現在の仕事で満足しているかどうかを問いかけた。

2. 前置詞の後に目的語として続くもの。

例★He must rely on himself to make enough money to pay for his rent.

彼は自分の家賃を払うために、自分に頼るしかない。

3. forやbyと一緒に使われて意味を成すもの。

例★I made this bookshelf for myself.(for oneself=～のために)

私はこの本棚を自分のために作った。

例★Look at that! Tiffany put on her shoes all by herself.

(by oneself=独力で、一人で)

見ろよ！ティファニーが自分で靴を履いたぞ！

4. 意味を強調するためのもの

例★Did you see the woman herself?

彼女自身を見たかい？

5. ～自身の(所有格を強調する)

例★I didn't believe it until I saw it with my own eyes.

私自身の目で見るとまでは、わたしはそれを信じることはできなかった。

※次ページからは、その他の代名詞の代表的なものを例文と共に記載します。

その他の代名詞

●this(これ)

例★*This tastes great!*
これおいしいね！

●that(名詞がもう一度使用される際の代わりになるもの)

例★*The temperature of Japan in winter is like that of Seattle.*
冬の日本の気温はシアトルのそれ(気温)と同じようなものである。

●those(名詞がもう一度使用される際の代わりになるもの。※複数形)

例★*Her eyes were like those of a cat.*
彼女の目は猫の目のようだ。

●so(そのようなこと)

例★*You work so hard. You should get a raise.!*
I hope so.
あなたはよく働くね。昇給するべきだ！
そうだといいね。

●so +S+V「～もそうです」

例★*Jim is always so helpful.*
So are you.
ジムはいつも役に立ってくれるね。
君もだよ。

●such(そのような)

例★*Don't say such things.*
そんなこというなよ。

●as such「そのように～」

例★*Even though she is famous she is just a normal person, and should be treated as such.*
彼女は有名な人だけど、普通の人なんだ。そしてそのように扱われるべきである。

●one(一つの何か)

例★*I've had this refrigerator for years. I should buy a new one.*
もう何年もこの冷蔵庫を使っています。新しいのを買うべきだね。

●ones(複数の何か)

例★*These shoes are a little out of my price range. Do you have any cheaper ones?*
これらの靴は私の値段の範囲を少し超えています。もっと安いものはありますか？

●another(もう一つの何か)

例★*The new movie won't come out for another 3 months.*
その新しい映画はもう3カ月は公開されないだろう。
(例えば、すでに3ヶ月待った状態と言えます)

●both(両方とも～※2つのものに言及している)

例★*Both Jenny and Mary are from Sydney.*
ジェニーもメアリーも両方ともシドニー出身である。

その他の代名詞(続き)

●others(他の人、もの)※何かを対称にしたとき、「それ以外の人、もの」を言う。

例★*Some people prefer coffee or tea, others prefer juice or water.*

コーヒーか紅茶を好む人もいれば、ジュースや水を好む他の(それ以外の)人もいる。

●the other(2つのうちのもう1つ)

例★*We have two branches in Tokyo. One is in Shibuya. The other is in Ikebukuro.*

私たちは東京に2つの支社をもつ。1つは渋谷、もう1つは池袋にある。

●each(それぞれ)

例★*Each of the contestants had a wonderful performance.*

競技者それぞれがすばらしいパフォーマンスをした。

●either(2つのうちのどちらかの一方)

例★*Have you been to either of those restaurants?*

これらの(2つの)レストランのうちのどちらかに行った事がありますか？

●neither(2つのうちのどちらでもない)

例★*Neither of the presentations were very clear.*

それらの(2つの)プレゼンはどちらもあまり分かりやすいものではなかった。

●all(すべてのこと、もの、人)

例★*All we can do now is wait for the results next week.*

私たちができるすべてのことは来週の結果を待つだけだ。

(※Allをwe can doによって後ろから修飾しています。わからない場合は「関係代名詞」の解説を参照しましょう)

●any ※肯定文で「いかなる～」(後に続く名詞は単数形)

例★*Any anime fan would love to live in japan.*

いかなるアニメファンも、喜んで日本に住むだろう。

●any ※否定文「一切の～もない」

例★*I don't have any plans this weekend.*

今週末はなんの予定もないよ。

●any ※疑問文で「何らかの～、どれかの～」

例★*Do you have any tools I can use to fix my bike?*

私の自転車を修理するための何らかの道具を持っていますか？

●some(いくつかのもの、人～)

例★*Some of his books sold very well.*

彼の本のうちの何冊かはよく売れた。

●none(誰も、何も～ない)

例★*None of the public toilets in Morocco have toilet paper.*

モロッコの公衆トイレはトイレットペーパーがない。

その他の代名詞(続き)

● anyone, anybody(誰でも)

例★Anyone(Anybody) may use the public gym.

誰でも自治体の体育館を使うことができます。

● someone, somebody(漠然と「誰か」)

例★Could someone(somebody) please turn down the music? I'm trying to sleep.

誰か音楽をとめてくれないか？僕は寝ようとしているんだ。

● nobody, no one(だれも?ではない)

例★Nobody(no one) could figure out how to fix the machine.

誰もその機械を治す方法を見つけることができなかった。

● anything(いかなるもの、すべてのもの)

例★What do you want to eat?

Anything is fine.

何が食べたい？
なんでもいいよ。

● something(※漠然と「何か」)

例★I need something to kill time.

時間を潰すために何かが必要だ。

● everyone, everybody(みんな)

例★Everyone(Everybody) should find a passion for something in life.

人生において、みんなが何かのための情熱を見出すべきだ。

● nothing(何も～ではない)

例★Nothing can change his mind about this design idea.

このデザインのアイデアに関して、彼の心を変えることはできない。

● everything(全てのもの)

例★She wants to buy everything in the store.

彼女はその店の全てのものを買いたいを思っている。

いかがでしたか？代名詞の種類は沢山あります。使いこなせばかなり便利だし、また頻繁に使用されているので、正確に英語を理解するうえで重要です。